

**福祉だより**

# ぬくもり

第124号  
2022年10月16日

西宮市北六甲台地区  
社会福祉協議会  
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区社協広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

## ともだちひろば

### 「動く・じじいの館号」に興味津々



八月二十六日(金)の子育て広場「ともだちひろば」には三年ぶりに「動く・じじいの館号」に来てもらいました。

姫路にある「県立こども館」から専門のスタッフが出張し、地域の子ども達を楽しませてくれる活動が「動く・じじいの館号」です。

夏休み中のこの日は、幼稚園児と小学生を含む二七名の親子が参加してくれました。

わらべうたや伝承遊びから始まり、親子体操で

はいっぱい汗をかきました。興味津々です。普段とは違う「ともだちひろば」を親子で楽しんでもらえたよかったです。

この日はスタッフTさんの小学生と中学生のお子さんがお手伝いに来てくれたり、社協役員のYさんから差し入れを頂いたりと「ともだちひろば」は皆さんに支えられているのだと実感しました。

コロナ禍では、小さな子ども達も不自由な思いをしています。沢山の親子が子育て広場を待っています。



## 第5回敬老お祝訪問

### コロナ禍での繋がり大切



今年で敬老お祝い訪問は五回目を迎えます。

新型コロナウイルスのオミクロン株が全国で猛威を振るい、八月頃は全国で一日二五万人を超えるなど、どれだけ増えるのかと心配しましたが、現在では全国で三万五千人、兵庫県でも千二百人と減少しています。

今までは、マスクをするなど対策をしっかり執っていたけれど、安心してはいけません。熱が出て体調が悪いと言った検診に来られる方が多く、コロナと診断されるなど身近なところでも発症しており、まだまだ油断出来ません。

そんな中、コロナの基本対策を執ってのイベント開催や海外からの入国制限を見直しなど、コロナ以前の生活が少しずつ戻り始めています。

くれているのだと、感じます。地域で子育てを見守るために、皆さま、どうぞ気軽に「ともだちひろば」にお立ち寄りください。

(子育て支援部 鈴木)

## 民生委員の一斉改選

### 欠員問題と地区社協の役割



十一月末に三年任期の民生委員、主任児童委員(以下民生委員と以下)の更新を迎えます。

但し、定年規定により民生委員は七五歳、主任児童委員は六五歳を超えては原則として再任されません。

三年前の前回更新から地区社協は民生委員の推薦準備会委員に就任し、退任予定の民生委員の後任者の人選に関わっています。

今回も北六甲台の民生委員について自治会とともに人選を担当しました。ただ毎年役員が入替る自治会には選考の人

材情報は限られます。そこで自治会とも相談の上、実質的に地区社協が担当することになりました。

今回は定年を迎える四名の方の後任の人選に関わりました。結果的に退任予定の現役の民生委員の意向も汲んで最終的な人選が固まりました。

選考実務を経験して地区社協の活動と民生委員の役割の関係の深さを痛感しました。白紙の状態では地域の皆さんの中から民生委員を選考するのは大変です。ところが地区社協活動に関わっている人たちの多くは、見守り

## 各種の案内を添えて

今年の敬老お祝い訪問は、四一五名の方に、二八名のスタッフがお馴染みの社協ベスト、マスク着用でお訪ねしました。

コープの「赤飯パック」とクッキーのセットに、北六甲台小学校四年生の生徒さんをお願いして書いて頂いた「メッセージカード」、安心プラザでの「ぬくもりカフェ」のご案内等の各種の案内を添えてお届けしました。

今回新たな取り組みの子どもさんのメッセージを訪問先で説明すると、皆さんから「良いお祝になる」と喜んで頂きました。

**子どもたちのメッセージ**

高齢者福祉部では「高齢者がいきいきと生活できるまちづくり」を目指しています。子どもさんからのメッセージは、日々

## 子どもたちの敬老お祝メッセージ

の生活の中でも励みになったのではないのでしょうか。

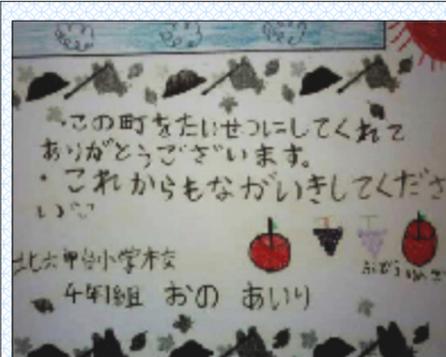
子どもさん達の学校の行き帰りに会うことが有れば、「おはよう」「お帰り」「こんにちわ」などとお声かけを頂ければと思います。

訪問しましたスタッフも「来年もお元気で会えるのが楽しみ」との思いです。来年に向けてまだ、お申込み頂いていない方も社協のスタッフにご連絡頂くようお願い致します。

恒例の地区社協の「敬老お祝い訪問」に、今年は北六甲小学校四年生の児童の皆さんの敬老お祝いのメッセージカードを、お届けしました。夏休みの真っ最中でしたが先生にご無理をお願いして、九月始めに七十名近くの児童の皆さんから頂くことが出来ました。

「健康でハッピーでくらしたい」などのメッセージに、涙腺を緩ませながら元気づけられる思いで、対象の皆さんにお届け致しました。お届け後には、多くの方から感謝の言葉が寄せられました。

こんな子供たちの言葉に感動をもらえることは、今後も続けていけるよう願っています。



北六甲台小学校育成センター

「けん玉」もしかめ大会の妙技

新学期が来週始まる前の八月二十六日の夕方十六時に、北六甲台小学校育成センターで、「けん玉・もしかめ大会」があるとの情報を得て指導員の先生の御了解を頂いて訪問取材しました。



私自身、センターの場所がどこにあるのか不安でしたが、体育館の横の建物の看板を見て一安心。初めに真鍋先生にお話しをお聞きしました。一年生から三年生の在籍者は、現在五六名ですが、夏休みの常時参加者は三〇名程度だそうです。センター開設時間は朝八時



から夕方一七時で、一九時までの延長保育もやっています。私が訪問した時はけん玉の練習をやっていました。

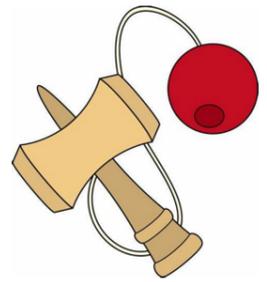
一日のスケジュールの中には、夏休みの宿題をする時間が九時から十時の間に設けられています。自由あそび時間としてお誕生日会やおたのしみ会（スーパースクール等）、ビデオ会（どらえもんビデオ等）があります。中でも興味深かったのは、けん玉検定で、「日本けん玉協会」のきまりを踏襲して、十級から始めて現在一級をクリアして、準初段に挑戦している生徒さんが一名いるとのことでした。

本日は「けん玉・もしかめ大会」が一六時から開催されました。

ら開催されました。真鍋先生がストップウォッチを持ち、けん玉棒のおわん二箇所に交互に玉を入れ、玉が落下すれば競技終了。一位は七分四秒で、ひとり勝負になった時は、他の生徒さんは静かに息を殺して応援していました。

みやばく&ぐりんアップル共催

食品添加物セミナーレポート



私はこの間生徒さん以上に緊張し、育成センターとはどういう所か自分の目で確認出来、いい取材となりました。（広報部 小出）

を考えよう」を合言葉に、西宮の保護者で立ち上げた任意団体です。

当日は、アトピーやアレルギーに関心のある保護者、農家、市議会議員等、様々な方にご参加いただきました。

UWORDTH代表の板西まいこ先生からは、「何を食べるかの前に、何を食べない方がいいか、まずは引き算してほしい」と、添加物の原材料や作られる工程などを詳しく

北六甲台自治会主催

北六甲台三世交代流ゴルフ

六年越しの開催



九月十七日（土曜日）十時から、北六甲台小学校グラウンドで三世交代流グラウンドゴルフ大会が開催されました。主催は、西宮北六甲台自治会で、連合福寿会・スポーツ二一北六甲台・北六甲台地区社協・北六甲台校区青愛協の協賛で行いました。

年齢差七八才



した。平成二九年（二〇一七年）から休会になりました。途中、コロナ禍で活動自粛が続く、地域の交流ができない時期がありました。しかし、連合福寿会をはじめ各団体と西宮北六甲台自治会からの要望もあり、今回令和四年（二〇二二年）に六年ぶりに復活しました。

参加者は、下は九才の小学生から上は八七才までと年齢差七八才の幅広



さでした。体育館前で検温と消毒を行い、山崎会長の挨拶で始まりました。第三福寿会・会長の井上さんよりチーム分けの発表があり試合開始です。当日は曇り空で、グラウンドを歩くには丁度よく、熱中症の心配はありませんでしたが、凍らせた飲料水が適度のに体の冷却になりました。試合形式は、八ホール、二ラウンドで八チーム（競技は個人競技）で競技しました。ホールは一五メートルのシヨートから四十メートルのロングまで多彩で

す。競技中は、あっちこっちで「歓声（ホールインワン？）」や「残念！」の声が上がっていました。われわれのチームは、初心者と経験者、そしてベテランのメンバー構成でした。初心者は、初回からピギナースラックでいい感覚でしたが、二ラウンド目はだめでした。経験者とベテランは、やはり安定した打数です。

成績発表

結果の集計は体育館内で特設された場所です。社協事務局をされている北村さんと福寿会の井上さんが対応していました。参加した皆さんは、結果発表までの時間、これも特設されたアプローチを行う場所で再度グラウンドゴルフを楽しんでいました。

全体の結果は、ホールインワンが七回ありました。その内個人で二回も出した方がいます。三丁目の天野さん（福寿会会員）です。そして優勝も持っていました。また各賞も多くあり、優勝から十位まで飛び賞、



教えていただき、会場からは「知らなかった」と、しばしば驚きの声が上がりました。また、食が感情や意欲などに影響をもたらすメカニズムから、不登校やいじめ等との関連についても触れていただき、「まずは日々食べる物について、知ることから始めてください」と締めくくられました。当日は地区社協から託児ボランティアさんが来てくださったので、未修学児を同伴された方にも安心してご参加いただきました。（広報部 山田永味子）



十五位から五位の小刻みで四五位まで、もちろんブービー賞も、賞を受け取った人も、参加した人も全てが商品を取った様な感覚で大いに賑わいました。コロナ禍で、みんなが競技する事が出来ない時期が続きました。しかし、ようやく先が少し見えた時期に、このように子どもから高齢者も楽しめる競技が出来たことは大変良かったと思います。今後、皆さんで楽しめる行事が続くように体調に気を付けていきたいものです。（広報部 西口）